

# 絵画と天文学

## 「Starry Night over Brooklyn Bridge」

吉川 あゆみ、新谷 日和、田川 裕二（高2）【大阪府立北野高等学校】

**要旨** 私たちは、Nathan Mellottの『Starry Night over Brooklyn Bridge』について検証を行い、月とその隣の星の正確な場所および日時の特定を目指した。絵と実際の星空は完全には一致しなかったため、この絵は作者が美しいと思う感性に従って描かれたと考えられる。

**予想** 私たちは、まず絵を見ただけでわかる情報を集めた。分かったことは以下のとおりである。まず描かれた場所は、アメリカ ニューヨークのブルックリン橋である。絵画中の月が満月で、背景が真っ暗かつ月の高度が低いことから、冬の可能性が高い。またどこか高い地点から描いていると考えられる。

次に、Google マップで調べた結果、描かれた方位は南東であると推測した。また、本人の公式サイトより、2014~2015年に描かれたと考えた。



図1 Starry Night over the Brooklyn Bridge



図2 絵画の描かれた正しい方位

<https://search.yahoo.co.jp/image/search?rkf=2&ei=UTF-8&gdr=1&p=Starry+Night+over+the+Brooklyn+Bridge>

より引用

### 検証

- (1) シミュレーションソフト「ステラナビゲーター」を用いて、調査範囲を2014~2015年にして、冬を中心に満月の日の星空を一つずつ調べていった。
- (2) (1)と同時に、作者がまだ存命ということから、公式サイトからメールでの接触を試みた。

### 結果

作者からの返信により、絵の描かれた時期は2005年の2~3月、場所はウォーターストリートとフルトンストリート付近のアパートの29階と判明した。この情報から月の見える方位を再検証すると、絵画の描かれた正しい方位は南東ではなく東とわかった。また、ニューヨークは明るい星でなければ見えないという作者からのアドバイスを踏まえ、月の隣の星は十分に明るい惑星と考えた。これらから立証を進めると、作者の返答と一番一致したのは、2005年2月20日19:00の星空であった。この星空は方位と明るい星(土星)という条件には合致するものの、月の隣の星の位置(右斜め下→右斜め上)は異なる。



図3 2005年2月20日19:00の星空

### 考察

私たちの班は、同じグループの他の班と違い、作者が存命であること、場所や日時の特定がしやすいことから、月とその隣の星の正確な場所および日時の特定を目標とした。私たちの考える絵画の描かれたときの実際の風景と、絵画は星の位置関係が異なる。つまり、星は絵画において必ずしも正しい位置に書かれてはいない。よって、この絵は作者の美しいと思う感性に従って描かれているといえる。